

SEMANARIO DE S. PAULO

No. 122

12-Junho-1925

S. A. Kobayashi
Caixa 2-2

聖 め 新報

何處でも
女は生産者だ

里心を起すのは
性的奴隸の女ばかりだ

日伯新聞第四百二拾五號に里心
は女からと題して社説を掲げられ
た。

里心は女からの場合もあるが、
それは一般的女にあてはまるとは
思はない。

里心を起して居る女なるものを注
意して御覧、かの女等は十中の九
分九厘迄が、遠添ふ男の性的奴隸
に甘んじて居る女性である。

そうして一般的日本の女性は決し
て里心を起して居らぬ。かの女等
は到る處男子以上に生産労働に從
事して居る。

男が狩獵時代の放浪性を出し現住
地から他處へ移りを強用しても、
若し生産的に能力を發揮されぬ望
めのない處と女が感じた場合、女は
男よりも決断力に一層富んで居る
ない例の場面がそこら到る處
がつて居る。

女は現生産的事業の繼續を利あり
とする場合、挺子でも他に動かせ
ない男を動かし男がかない場
合は引づつても生産的に有利な他
のない處と女が作る。

女が何故に生産的であるかつて
それが申す迄もないことだが、兒
童は産むことがそれで、兒童を産む
ことは産屋も初めは女が作つたこと
は鳥の雌を見ても、獸の牝を見ても
味噌醤油を作り、野菜をそだて
るもの女の仕事であり、衣服を作つ
て呉れるのも女だ。

現在伯の植民地で静かに女の
労働を觀察して御覧、かの女等は里心
を起すところか牛馬以上に奴隸の如く働いて居る。鶏を飼ふも女の仕
事は日本に日本女性が居なかつたら
日本人が眞の海外發展は男の放
浪性に成功せず日本女子の生産性
に屹度成功すると私は思ふ。

Rocco Kowiyama
Redactor
o « Semanario de São Paulo »
Caixa Posta 5
Rua Patam. 15-B
Barra
Estado e São Paulo BEASIL

時事、又感想を葡文につとり
投書して下さい
伯日兩國人が、斯て幾分でも
も妙ない、あればその女は生産
能力の生理的に缺けて居る女であ
る。

日本人諸子の訴訟事件には
特にご盡力致します
上での其鳴反應があれば、それ
は兩國人がエンテンデ仕合ふ様
子になるでしょう。

Afiliataria 洋服店
方ルサ殖民地
農業者の成功は土地を買ふにあり。
土地を買ふ人はガルサを視させられよ。
ガルサの地權 土質、其の高度已に諸君が知らる通り。
隅から隅まで一坪としてカフェーの植はらぬ所がないと云ふのが
當殖民地の特色なり。

地價は場所に依て一定せず、但し拂込法は四年賦にして無利息
バウリスター延長線は己に當地内で工事中なり。
詳細は在記宛御照會ありなし。

ガルサ殖民地にて
ガルサ殖民地にて

公認電工技師
小林弘一郎

Jr. João Franco de Godoy
医士
事務所
電話
北西線
正田
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ

測量、設計、
其電気工事に當する
一切のため求めて叶ひます

北西線
正田
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ

Habilitado perante a Faculdade
de Medicina do Rio de Janeiro
Clinica medica cirurgia
Dr. M. Sasada

医師
篠田正
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ

私事今般桶洋服店を譲受全業を營むことで相成候間何卒お引立の
程伏而願入候

町寧女洋服御仕立所
北西線
店主飯島義政

巴爾市八月一日街
(シネマ真前)

廣告

巴爾市八月一日街
(シネマ真前)

家具製造
並に販賣

巴爾市八月一日街
(シネマ真前)

Marcenaria Japoneza
Massagi Koga

旅館
聖市ボニタ街
一一番
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ

▼ 播球場、幕、將棋其他娛樂設備あり

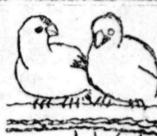
巴爾市八月一日街
(シネマ真前)

常盤

石原桂造
旅館
聖市コンデ街四一番
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ

上地彌藏

巴爾市アベニーダ
郵函一二三五
電話セントラル五七〇
内秀
ドトール
ジヨアン
フランコ
ゴドヰ



五 落

官營
藝者

柳家
小三治

▲ 鄉里送金 ▼

設備完全
諸事便利

大福

高齊藤好之助

兵同

宿
リース市

御

福

善之助

兵同

福

兵同